

令和元年度 観光振興施策の実施状況（概要）

I 重点施策

1 インバウンド拡大施策

- ・「重点国・地域」である香港、台湾の旅行会社やメディアの招聘とともに、現地の旅行展示会出展や商談会・現地セミナーを開催
- ・多言語観光情報サイト「Discover Tokushima」による情報発信

2 国内誘客施策

- ・オンライン旅行会社を中心としたWEBサイトや、フェイスブック・インスタグラムといったSNSを活用した「#徳島あるでないで」キャンペーンを実施
- ・旅行会社向けプロモーションとして東京都内で「オール徳島」観光商談会を開催

3 滞在型観光推進施策

- ・東部、西部、南部において3つの地域連携DMOが登録され、これらのDMOとの連携により県内周遊ルートづくりを推進
- ・スマートフォンで利用できる観光アプリ「徳島たびプラス」による周遊促進

4 MICE誘致施策

- ・中四国規模以上のコンベンションを対象として開催費やシャトルバス運行費等を助成
- ・「国際MICEエキスポ」等へ参加し、助成制度などの支援策をPR

II 基本施策（重点施策推進に向けた共通した取組み）

1 観光マーケティングの強化

- ・本県観光の現状と課題を把握し分析するため、国が実施している観光統計の活用に加え、主要観光施設に訪れた観光客への来訪意向調査を実施
- ・新型コロナウイルス感染症に関して、観光関連事業者への影響を調査

2 観光誘客基盤の強化

- ・観光関連事業者を対象として多言語表記やWi-Fi環境整備を促進
- ・宿泊事業者における収容人数の増加や客室稼働率の向上につながる客室や入浴施設等の魅力アップに取り組む改修事業に対して支援

3 観光人材の育成・強化

- ・ボランティア通訳団体「徳島GGクラブ」において、多言語観光案内シミュレーション、県内通訳人材スキルアップのための通訳人材養成セミナーを開催
- ・タクシー運転者の「おもてなし力」向上を目的に「おもてなしタクシー」の認定を推進

4 観光コンテンツの充実

- ・阿波おどりの通年化に向け、春の「はな・はる・フェスタ」、夏の本番に加え、「秋の阿波おどり」、「冬の阿波おどり体験ツアー」を開催
- ・宿泊者の増加や観光消費拡大を図るため、新たなナイトイベントを企画する民間事業者を支援

5 情報発信力の強化

- ・県観光情報サイト「阿波ナビ」において、AIを活用したFAQサービスや体験・食等の外部サイトと連携した機能により観光情報を効果的に提供
- ・海外の現地メディアやインフルエンサーを招聘し、雑誌やSNS等で情報発信

6 広域観光の推進

- ・「関西観光本部」や「四国ツーリズム創造機構」、「せとうち観光推進機構」と連携した観光PRや商談会への参加など、スケールメリットを活かした観光プロモーションの実施
- ・兵庫県と連携した割引クーポン付き「淡路島&徳島とくたく周遊ガイド」による周遊促進